

# ルシフェラーゼ 30周年記念企画



1991年世界初のホタルルシフェラーゼ定量キット発売より、  
皆さまの研究発展とともにプロメガのルシフェラーゼ技術も進化し、  
多くの研究者の皆さまにご利用いただきました。

プロメガの  
ルシフェラーゼ製品を  
使用した  
皆さまの論文を  
ご紹介ください！



決定！  
皆さまと歩んだ30年、感謝を込めて！

## ルシフェラーゼ 大賞



第1弾

皆様の研究室に安らぎを！



### 《感謝賞》

コーヒーマーカーを申請論文  
により最大8台プレゼント!!!

全自動コーヒーマーカー(有名メーカー ¥60,000相当)  
※イラストはイメージです

応募方法は  
最終ページ参照

### 《参加賞》

申請頂いた方  
全員に

タンブラーを進呈！



キャンペーンサイト

[promega.co.jp/luc30prize/](http://promega.co.jp/luc30prize/)



第2弾

研究室の懐に安らぎを！

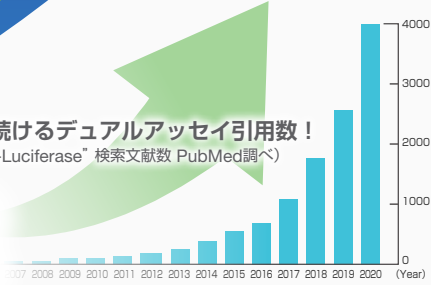
上位論文使用製品を年度末キャンペーン対象製品に採用予定！



プロメガ株式会社

# Promega Luciferase

今も増え続けるデュアルアッセイ引用数！  
("Dual-Luciferase" 検索文献数 PubMed調べ)



皆さまと歩んだ30年、感謝を込めて！

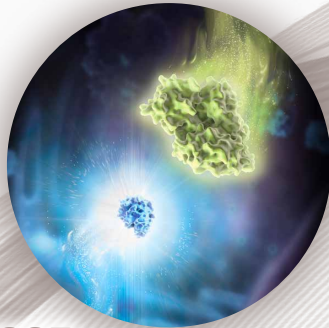
## History

## Reagent



### 1991 Luciferase Assay System

世界初のルシフェラーゼ発光検出キットとして、プロメガより販売



### 1995 Dual-Luciferase® Reporter Assay System

内部標準を同時測定するデュアルシステムによりレポーターアッセイがよりソリッドな実験手法として定着



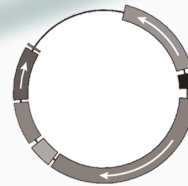
### 1998 Steady-Glo® Luciferase Assay System etc

ルシフェラーゼ発光を長時間化することにより、マルチウェルプレートを用いたハイスループットスクリーニングにも採用



### 1999 CellTiter-Glo® Cell Viability Assay etc

頑健な耐熱性 Ultra-Glo® ルシ開発によりATPやルシフェリン各種アッセイシステムを開発



### 2004 pGL4 ルシフェラーベクター改良型ホタルルシフェラーゼ遺伝子 (*luc2*) またはウミシイタケ (*hRluc*) を搭載したレポーターベクター登場。シグナル / バックグラウンド比が飛躍的に向上

### 1994 プロメガ日本支社設立

Promega Corporation の6番目の子会社としてプロメガ株式会社設立。日本における販売網整備、技術サービスを開始

### 1996 Turner Designs Luminometer Model TD-20/20

フラッシュ発光が全盛期のルミノメーターでは試薬添加直後に測定する必要があるため、インジェクターが必須でした



### 2004 GloMax® 20/20 Luminometer 初めてのGloMax® シリーズルミノメーター。タッチパネルを採用し、操作性が飛躍的に改善

日本人ノーベル賞受賞者  
(医学・生物系)

2002

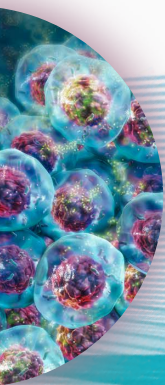
田中 耕一 先生  
生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発

2008

下村 脩 先生  
緑色蛍光タンパク質 (GFP) の発見と生命科学への貢献



ルシフェラーゼ 30 周年記念企画  
ルシフェラーゼ大賞 キャンペーンサイト  
[promega.co.jp/luc30prize/](http://promega.co.jp/luc30prize/)



## 2012 NanoLuc<sup>®</sup> Luciferase System

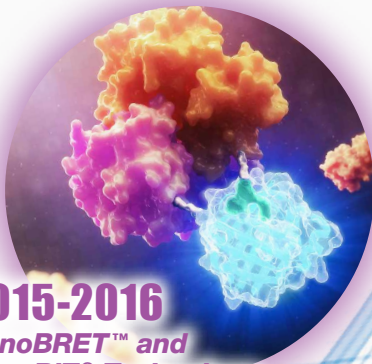
これまでより100倍明るく、小型の NanoLuc<sup>®</sup> ルシフェラーゼ開発により実験ツールとしての可能性が拡大

フェラーゼを生成する



## 2015-2016 NanoBRET<sup>™</sup> and NanoBiT<sup>®</sup> Technology

生物発光共鳴エネルギー移動 (BRET) のドナーとしても優れる NanoLuc<sup>®</sup> と最適な蛍光色素を組み合わせた NanoBRET<sup>™</sup> テクノロジー。NanoLuc<sup>®</sup> を大小2つのサブユニットに分割した NanoBiT<sup>®</sup> テクノロジー。アプローチの異なる新しい細胞内タンパク質相互作用解析ツールを提供



## 2020 Lumit<sup>™</sup> Technology

NanoLuc<sup>®</sup> 大小サブユニットで標識した抗体を用いた、洗浄不要のスーパーイムノアッセイで基礎分野から応用分野への飛躍をめざす!



## 2019 HiBiT<sup>™</sup> ノックイン細胞

標的タンパク質内在ローカスに発光ペプチドタグをノックインした細胞。タンパク質の発現や分解をリアルタイムに追跡可能



## 2018 ベクター・細胞構築受託サービス&コンサルティング

ベクター作成から安定発現細胞の構築までを行う受託サービス。実験準備やアッセイデザインのコンサルティング、小規模オンラインセミナーも開始

## 2012 レポーター バイオアッセイ用細胞

「試薬としての細胞」というコンセプトをもとに作成された細胞製品。ADCCやT細胞活性化などをレポーター発光シグナルで正確にアッセイ。抗体医薬開発やロットリリース試験に最適

## Cell and Service



## 2012 RentaMAX 機器レンタルサービススタート

最高の試薬パフォーマンス・アッセイを体感いただくために無償の機器レンタルサービス (プレートリーダー他) をスタート

※Promega Club入会、試薬を購入いただく必要があります。



## Luminometer

## 2013 新GloMaxプレートリーダー

プロメガ高感度発光アッセイ試薬のパフォーマンスを最大限に引き出すプレートリーダー。アッセイプロトコルが予めインストールされ、簡単操作を実現



2012

山中 伸弥 先生  
成熟した細胞を多能性を持つ細胞へと初期化できることを発見

2015

大村 智 先生  
線虫寄生による感染症に対する革新的な治療法の発見

2016

大隅 良典 先生  
オートファジーの仕組みの解明

2018

本庶 佑 先生  
免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用

# ルシフェラーゼ大賞 応募要項

プロメガのルシフェラーゼテクノロジーを使用した研究論文をぜひご紹介ください！



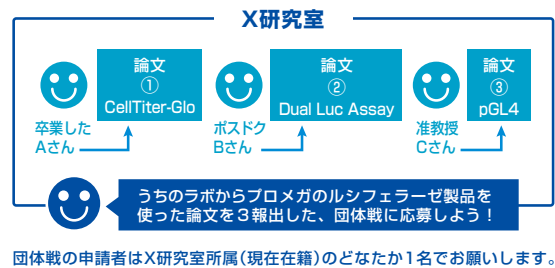
## ルシフェラーゼ大賞（感謝賞）は団体戦と個人戦でエントリー可能！

A. 団体戦 感謝賞（最大 5 研究室）：研究室単位で申請総論文数を競うもの

B. 個人戦 感謝賞（最大 3 名）：イチオシの論文と使用したルシフェラーゼ製品へのコメントコンテスト（プロメガテクニカルサービス部による審査）

- コメント例
- 実験に貢献・寄与したポイント
  - 他法よりも良かった点、比較結果
  - 新しい使い方、発光法を利用した次のアイデア など ...

また、参加賞として申請頂いたすべての方にプロメガオリジナルのタンブラーを進呈いたします！



### 申請論文の条件（すべてに当てはまるものに限る）：

- 【団体戦】ファーストオーサーの投稿時の所属研究室が同じ論文で、申請者はその研究室に現在在籍されている方であること（研究室単位で、1 名の方がまとめて、1 回の応募 [上図参照]）
- 【個人戦】申請者がファーストオーサーである論文（およびそれに対するコメントを記入。上記コメント例参照）
- プロメガ社製で製品名に luciferase, Glo などを含むキット（その他 生物発光技術を利用した製品）が "Materials & methods" などの項目で明記されているもの。
- 該当する論文内容が確認できる URL が存在し、30 年以内に公表されたもの

※申請いただいた論文情報（使用製品、ジャーナル名、号、ページなど）は弊社ホームページや印刷物において掲載させていただくことがございますのであらかじめご了承ください。  
※全文にアクセスできない場合には、個別にご連絡させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

### 応募方法

1. キャンペーンページ内のフォームにお客様情報を記入してください。  
[promega.co.jp/luc30prize/](http://promega.co.jp/luc30prize/)



2. 上記の論文条件を満たすものをフォームにてご申請ください。

3. その他の必要事項を記入後、ご送信ください。

※当選者（またはニックネーム）は上記キャンペーンページにて 2021 年 12 月 24 日に発表（賞品の発送は 2022 年 2 月ごろを予定）

※本キャンペーンに関する Q & A は上記キャンペーンサイトをご確認ください。



日本語 Web site : [www.promega.co.jp](http://www.promega.co.jp)

テクニカルサービス • Tel. 03-3669-7980 / Fax. 03-3669-7982 • E-Mail : [prometec@jp.promega.com](mailto:prometec@jp.promega.com)

## プロメガ株式会社

本社 〒103-0011  
東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル  
Tel. 03-3669-7981 / Fax. 03-3669-7982

大阪事務所 〒532-0011  
大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル704号室  
Tel. 06-6390-7051 / Fax. 06-6390-7052

※製品の仕様、価格については2021年10月現在のものであり予告なしに変更することがあります。

販売店